

動物実験に関する自己点検・評価報告書
平成 25 年度

関西医科大学

平成 26 年 9 月

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 関西医科大学動物実験委員会規程 (平成25年5月14日施行) 関西医科大学動物実験規程 (平成23年12月13日施行) 関西医科大学遺伝子組換え実験安全管理規程 (平成25年1月8日施行) 動物用医薬品指示書および許可記録
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が適正に定められている。遺伝子組み換え動物実験に関しては動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が適正に定められている。 また、培養細胞の取り扱いに関する規定を新たに設けた。
4) 改善の方針 該当しない

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 関西医科大学動物実験規程 (平成23年12月13日施行) 関西医科大学実験動物飼育共同施設管理運営規程 (平成24年3月27日施行) 関西医科大学附属生命医学研究所実験動物飼育共同施設飼育管理および利用マニュアル (平成25年4月1日施行) 関西医科大学霊長類の飼育と使用に関するガイドライン (平成25年3月31日施行)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 実験動物飼育共同施設の移転も完了し施設の利用が通常に回復しつつあることから、実験動物飼育共同施設長の指導のもとに実験動物飼育共同施設委員および各講座等の利用代表者が現状を把握できるよう、実験動物飼育共同施設委員会および利用代表者会議の定期的な開催を再開する必要がある。 新施設の利用マニュアルに緊急災害への対応を具体的に記述、検証する必要がある。
4) 改善の方針 実験動物飼育共同施設飼育管理および利用マニュアルに、緊急災害への対応を追加する。

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

該当しない

<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>動物実験計画書に、感染実験、遺伝子組み換え動物使用、放射線使用、化学発癌、重金属実験等の項目を掲げ、実験者に注意を喚起している。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>該当しない</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>関西医科大学動物実験委員会規程 (平成25年5月14日施行)</p> <p>関西医科大学動物実験規程 (平成23年12月13日施行)</p> <p>関西医科大学附属生命医学研究所実験動物飼育共同施設飼育管理および利用マニュアル (平成25年4月1日施行)</p> <p>関西医科大学霊長類の飼育と使用に関するガイドライン (平成25年3月31日施行)</p> <p>飼育動物種ごとの飼育頭数、入手先一覧</p> <p>事故報告 (逃走など)</p> <p>微生物モニタリング成績、検疫記録、感染症発生記録</p> <p>病原微生物定期検査記録</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>実験動物飼育共同施設飼育管理および利用マニュアル等に定められた方法で適正に飼育保管を行っている。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>該当しない</p>

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の施設等は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>関西医科大学実験動物飼育共同施設管理運営規程 (平成24年3月27日施行)</p> <p>関西医科大学実験動物飼育共同施設館内図</p> <p>保守点検記録 (高圧蒸気滅菌装置等)</p> <p>空調管理記録</p> <p>廃棄物処理記録</p>

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

平成25年度	平成26年3月現在				
・動物実験審査件数	119件				
・審査後承認件数	119件				
・施設情報	実験動物飼育共同施設(1施設)				
・飼養状況					
動物種	マウス	ラット	ウサギ	サル	モルモット
動物数	16,469	1,208	37	15	15

平成25年度関西医科大学動物実験委員会(5名)構成

(1) 動物実験等に関して優れた識見を有する者
教授2名(専門:神経生理学、免疫学)

(2) 実験動物に関して優れた識見を有する者
教授1名(専門:実験病理学・発生生物学)

(3) その他の学識経験を有する者
教授1名(専門:幹細胞生物学)
准教授1名(専門:細胞生物学)